

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校 2 年	数学	数学 BC セミナー	3	特進文系
教科書・副教材		NEXT 数学 B、数学 C(数研出版) サクシード数学 II+B、数学 C(ベクトル)(数研出版)		

科目の目標			
高校 1 年生で学習した数学 I ・ A の知識をもとに、数列、ベクトル、統計的推測という 3 つの単元について、新たな数学的表現方法を学び、数学を活用して考えたり、数学的な考え方に基づいて問題を解決できる能力を身につけることが、この科目の目標です。いずれの単元も、最初は簡単な定義から始まり、少しずつ応用的な内容を増やしていき、最終的にはかなり難しい問題にも対応できる力を身につけます。 各授業時間では、一方的な説明を最低限に済ませ、生徒各自が理解を深めたり、問題を解決する時間が十分取れるようにしたいと考えています。 数学に対して苦手意識を持つ人も、基本事項の完全理解に努めましょう。授業だけでは理解できなかったり、やむを得ず授業を欠席した場合でも、解説動画等を活用して、基本知識と基本問題の解決力の定着を目指してください。 また数学が得意な人は、応用的な問題についても主体的・積極的に挑戦し、より高い次元の解決力を手に入れましょう。 授業中、分からないことは周囲の生徒と相談しても構いません。教員に質問してもらってもいいです。 また、理解を確実なものにするには、問題集を利用することが不可欠です。授業時間だけでは恐らく全ての問題を解くことはできないので、家庭学習や OM の時間も活用しましょう。試験直前だけでなく、日ごろから計画的に問題を解いていくのが、数学力向上の唯一の方策です。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	目標に挙げた各単元の内容について、基本的な原理や法則を体系的に理解し、それを用いて事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理しようとする態度	目標に挙げた各単元に関する応用的な問題について、より深く考察し、問題解決の過程や結果を正確に表現して、他者に自分の考えを伝えようとする態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に思考して数学的に判断する態度、問題解決の過程を反省し、改善方法を見つける創造的な態度
評価の方法	確認テスト 定期考査 ワークシート など	定期考査 ワークシートなど	授業に取り組む姿勢 課題

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	等差数列と等比数列	8	定期考査
	いろいろな数列とその和	8	単元テスト
	漸化式	5	ワークシート
	数学的帰納法	5	リフレクション など
2 学 期	平面上のベクトル	10	定期考査
	ベクトルと平面図形	10	単元テスト
	空間のベクトル	10	ワークシート
	座標空間における図形	6	リフレクション など
3 学 期	確率変数	6	定期考査
	二項分布と正規分布	6	単元テスト
	統計的な推測	6	ワークシート リフレクション など